分科会活動報告

病院・高齢者施設環境分科会－2025年度活動報告

柳　　宇

工学院大学 建築学部

FY 2025 Annual Activity Report of the Hospital and Elderly Care Facilities Subcommittee

Yanagi U

1）School of Architecture, Kogakuin University

1．分科会メンバー

代　表：柳　　宇（工学院大学）
幹　事：尾方壮行（東京都立大学）
委　員：東賢一（近畿大学）、井田寛（アルキメディア）、開原典子（国立保健医療科学院）、鍵直樹（東京科学大学）、金勲（国立保健医療科学院）、小林健一（国立保健医療科学院）、嶋崎典子（国立国際医療研究センター）、野崎淳夫（東北文化学園大学）、包　理（日本無機）、長谷川麻子（宮城学院女子大学）、長谷川兼一（秋田県立大学）、林基哉（北海道大学）、本間義規（国立保健医療科学院）、森本正一（新菱冷熱工業）、吉野博（東北大学）

2．2025年度活動状況概要

2.1　委員会開催状況

2025年度は、Web会議形式で委員会を３回開催した。委員会では、①東京都内における院内感染の現状、②SHASE特別委員会、③日本環境感染学会、④危機管理庁、⑤HEAS等に関する情報共有を行うとともに、活発な意見交換を行った。また、2026年日本臨床環境医学会学術集会におけるシンポジウムの企画・開催についても検討を行った。

2.2　2026年日本臨床環境学会学術集会シンポジウム

本分科会ではこれまで、病院および高齢者施設を対象として、室内環境に関する文献調査およびアンケート調査を実施してきた。2025年日本臨床環境医学会学術集会では、「高齢者施設における感染症対策の現状と課題」をテーマとしたシンポジウムを開催した。一方、医療施設においても、多数の集団感染事例が報告されており、空調・換気設備を含めた感染対策の重要性が改めて認識されている。このような背景を踏まえ、2026年日本臨床環境医学会学術集会では、「医療施設における空調・換気とエアロゾル感染対策 ― 制度・設計・運用をつなぎ、次の感染症危機に備える―」をテーマとしたシンポジウムを開催した。本

シンポジウムでは、以下の５つのテーマについて講演・討論を行った。

１．医療施設の空調換気に係る法的要件の整理

講演者：本間義規（国立保健医療科学院）

【概要】医療施設における空気感染対策に関する法的な外部評価には、医療法第25条に基づく立入検査がある。また、建築設備については、建築基準法第12条に基づく定期報告・建築設備定期検査が実施されている。さらに、院内感染対策では診療報酬制度に基づく感染対策向上加算等も活用されている。本講演では、医療施設におけるクラスター感染防止に向けて、これらの制度の有機的な連携と活用の重要性、および今後の課題について整理した。

２．病室空調の変遷と空調システム例

講演者：井田 寛（ID Green Office）

【概要】病室空調の歴史的変遷を概観するとともに、現在採用されている代表的な病室空調システムの設計事例を紹介した。また、各システムの特徴や適用条件、メリット・デメリットについて解説した。さらに、病室の陰圧・陽圧制御の考え方や陰圧病室の設計事例を紹介するとともに、一般病棟をパンデミック対応病棟として運用可能とする空調システムの設計例および実測した気流データについて報告した。

３．病院設備設計ガイドライン（空調設備編）HEAS-02について

講演者：尾方壮行（東京都立大学）

【概要】1989年に日本医療福祉設備協会から初版「病院空調設備の設計・管理指針」が発刊されて以降、医療施設の換気量やエアフィルタ性能等を示す指針として活用されてきた「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）HEAS-02」について、その策定経緯と概要を紹介するとともに、空気感染対策に関する推奨事項について解説した。

４．医療施設におけるエアロゾル感染抑制のための空調換気性能

講演者：林基哉（宮城学院女子大学）

【概要】COVID-19流行時には、多数の院内感染が発生した。調査・分析の結果、設計換気性能と実際の換気性能との乖離や、病室から病棟内へのエアロゾル拡散が感染拡大の要因の一つとして指摘された。本講演では、平時における室内空気環境の把握と空調・換気設備の維持管理の重要性を示すとともに、エアロゾル感染を踏まえた空調・換気設計の必要性、および空気調和・衛生工学会や日本環境感染学会等が示す各種指針について紹介した。

５．医療施設の空調・換気の課題を踏まえた今後の対応

講演者：宇都宮　啓（公益財団法人　日本建築衛生管理教育センター）

【概要】COVID-19流行時には、建築物衛生法の特定建築物に該当しない医療施設における空調・換気の課題が顕在化した。しかし、流行終息後は、それらの課題が十分に解決されないまま残されている。新興・再興感染症が繰り返し出現する今日において、同様の事態を繰り返さないために、今後求められる制度整備や施設管理の在り方について、私見を交えながら提言した。